

令和3年度 学校評価保護者アンケート まとめ

保護者の皆様には、日頃より栗原中学校の教育にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

令和3年度は、4月より通常通りの学校生活が始まりました。しかし、修学旅行の延期やハーモニーホールでの栗の実祭は12月に体育館で開催となるなど、変更を余儀なくされる場面が数多くありました。学年行事の中止や部活動の制限、保護者の方に参観いただけないことも度々でした。正にコロナ禍という言葉があてはまる令和3年度。保護者の皆様も、きっと多くの不安や憤りを抱えていらっしゃると思います。その中でのご協力誠にありがとうございました。

昨年度と同じく、学校メールを利用したWEBでの回答を実施いたしました。

アンケート項目 17項目

回答は4段階で、選択式

「肯定群」よくあてはまる・まあまああてはまる

「否定群」あまりあてはまらない・まったくあてはまらない

回答結果は、昨年度と比較して、肯定的な割合は大きくは変わりませんでした。

①令和3年度の成果（良かった点）

・「生徒は、全体的に授業に前向きに取り組んでいる。」は肯定群は91.6%で前年度より3.3%増加しています。深い学びの視点からの授業改善が生徒たちを主体的に取り組ませているためだと考えます。今後も、授業をよりよく改善していき、生徒の力をしっかりと育てまいります。

・「学校は、生徒の感謝や思いやりの心を身につけ、良好な人間関係を築くための指導を適切に行っている。」

・「学校は、生徒が充実して過ごせるように工夫して学級づくりに取り組んでいる。」は87%と前年度より5%増加しています。学校・学級でのルールが共有され集団への指導、個への指導ができていていると思います。よりよい学級づくりには学級経営への保護者の理解と協力が不可欠です。今後もどうぞよろしくお願いいたします。

・「学校は、生徒会活動や学校行事を通して自主性・主体性の育成をめざした指導を適切に行っている。」は肯定群が92.6%と前年とほぼ同じく9割を超えています。縦割りの異年齢集団活動において多様な関わり合いを通して、リーダーシップやメンバーシップを体験的に学ぶ機会となり、集団としての高まりと様々な活動への自発的な取り組みができるようになったのだと思います。

・「学校は、生徒が充実した学校生活を送れるよう環境整備や学校美化に努めている。」昨年度と同じく94ポイントでした。3年生の教室整備が夏に行われ、次年度は2年生の教室整備となります。生徒が過ごしやすく、勉強に集中できる環境作りを行っていきたいと考えます。

②令和3年度の課題（次年度へ向けて）

・「学校は、保護者会・懇談会等を設け、その意見等を教育活動に反映させるように努めている。」前年度84%から77.7%の6.3ポイント減でした。保護者が学校を訪問するPTA活動や学校・学年行事・学校公開・講演会など感染防止もありその機会が増やせていないことは大きく影響していると考えます。コロナ禍だからこそ、日常的に伝わる情報交換を探っていきたいと思います。

・「学校は、生徒との積極的な対話等を図り、信頼関係を築くために努力をしている。」前年度85%から81.4%と若干下がりました。

・「学校は、適切な危機管理（登下校時の安全指導、緊急時対応マニュアル、名札プレートの携行の励行など）が行えるよう努めている。」前年度95.7%から86.5%と一番大きく下がりました。近年学校や生徒を取り巻く様々な安全上の課題や学校事故など、学校・地域の特性や実情に即した危機管理マニュアルの見直しを行うことが大切です。

来年度も学校と家庭が歩調を合わせて一体となり、生徒の健やかな成長に向けて取り組んでいきたいと思ひます。